

（仮称）海上地域小学校の候補地について

	基本方針 案 1	基本方針 案 2	その他 1	その他 2																																																
候補地	嚶鳴小学校	旧海上中学校跡地	海上公民館等の敷地	海上中学校北側農地																																																
航空写真 敷地																																																				
敷地面積	18,231㎡	約27,000㎡	約20,000㎡	約35,000㎡																																																
1. 立地・アクセス性	・地域の西側に位置している。 ・水路により入り口が狭いため、水路を改修して出入口を増やす（広げる）必要はあるが、改修すれば保護者の送迎やスクールバスの運行はしやすくなる。	・地域の南側に位置している。 ・嚶鳴小と鶴巻小の一部からは徒歩通学圏内にある。ただし嚶鳴の琴田・江ヶ崎地区からは遠くなる。 ・県道側が交通渋滞しやすいため、出入口を複数に分けるなどの対策は必要。	・地域のほぼ中心に位置している。 ・嚶鳴小と鶴巻小の一部からは徒歩通学圏内にある。ただし嚶鳴の琴田・江ヶ崎地区からは遠くなる。 ・中学の送迎と被り交通渋滞発生の懸念がある。	・地域のほぼ中心に位置している。 ・嚶鳴小と鶴巻小の一部からは徒歩通学圏内にある。ただし嚶鳴の琴田・江ヶ崎地区からは遠くなる。 ・中学の送迎と被り交通渋滞発生の懸念がある。																																																
2. 周辺環境・駐車場	・住宅地が隣接している。 ・駐車場はやや不足しているが、プール解体などの配置を見直すことで、駐車場は広げられる。	・住宅地が密集している。 ・敷地が広いため、駐車場は確保できる。	・中学校や公園が隣接している。 ・校舎やグラウンドの必要面積を踏まえると敷地内だけで十分な駐車場を確保することは難しい。	・中学校や公園、公民館などの公共施設が隣接している。 ・敷地設定にもよるが、駐車場は確保可能。																																																
3. 安全性	・総掘線沿いの歩道が広い。 ・スクールバスと保護者送迎、児童の出入口を分けるなどの対策が必要。	・県道の交通量が多い反面、歩道が狭いため、交通安全対策が必要となる。 ・広原地区（一般県道飯岡停車場線）の冠水対策工事は進めているが、引き続き周辺道路の冠水対策が必要。	・総掘線沿いの歩道が広い。 ・周辺の道路幅は広く、見通しが良い。	・総掘線沿いの歩道が広い。 ・周辺の道路幅は広く、見通しが良い。 ・児童と自動車の動線を分けるなどの安全対策が必要。																																																
4. 建設費（目安）	約 1 0 億円 ・校舎改修（ライフライン・教室・屋根・外壁） ・体育館 ・グラウンド、駐車場など ※土地拡張の場合、追加費用が生じる	約 4 5 億円 ・小学校新築	約 8 0 億円 ・小学校新築：約 4 5 億円 ・既存施設解体：約 5 億円 ・公民館新築：約 3 0 億円	約 5 0 億円 ・小学校新築：約 4 5 億円 ・土地購入費等：約 5 億円																																																
5. 統合までの期間（最短）	5 年程度	7 年程度 ※排水対策、交通安全対策を要する。	1 0 年程度 ※公民館の移転を要する。	1 0 年程度 ※農業振興地域の除外・農地転用・用地買収を要する。																																																
6. その他	5 年後（R11）の児童数推計 437人 <table border="1"><thead><tr><th></th><th>1 年生</th><th>2 年生</th><th>3 年生</th><th>4 年生</th><th>5 年生</th><th>6 年生</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>鶴巻小</td><td>11</td><td>15</td><td>13</td><td>16</td><td>15</td><td>7</td><td>77</td></tr><tr><td>滝郷小</td><td>7</td><td>7</td><td>10</td><td>8</td><td>7</td><td>11</td><td>50</td></tr><tr><td>嚶鳴小</td><td>45</td><td>40</td><td>47</td><td>49</td><td>64</td><td>65</td><td>310</td></tr><tr><td>合計</td><td>63</td><td>62</td><td>70</td><td>73</td><td>86</td><td>83</td><td>437</td></tr><tr><td>クラス数</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>15</td></tr></tbody></table> クラス数は 1 クラス 3 5 人で計算。特別支援学級を除く。		1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合計	鶴巻小	11	15	13	16	15	7	77	滝郷小	7	7	10	8	7	11	50	嚶鳴小	45	40	47	49	64	65	310	合計	63	62	70	73	86	83	437	クラス数	2	2	2	3	3	3	15	委員より、統合中学校を旧海上中跡地に新設し、現海上中を統合小学校として活用するという案もあったが、統合中学校を新設するには敷地面積が不足している。 【海上中 約45,000㎡】 【飯岡中 約36,000㎡】 その他の跡地利用の方向性 ・住居系を中心とした複合施設や移住者向けの分譲地 ・生涯活躍のまちの波及効果を見極めた上での土地利用	【旧海上支所】事業継続計画（BCP）で市役所の代替施設に指定されている。 【海上公民館】大規模改修を行いながら2061年まで利用する。 【海上健康増進センター】大規模改修を行いながら2041年まで利用する。 【こども発達支援センター】海上健康増進センターと併せて検討していく。	・農業振興地域 ・大根根用水国営施設機能保全事業（R5 年度事業完了）
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合計																																													
鶴巻小	11	15	13	16	15	7	77																																													
滝郷小	7	7	10	8	7	11	50																																													
嚶鳴小	45	40	47	49	64	65	310																																													
合計	63	62	70	73	86	83	437																																													
クラス数	2	2	2	3	3	3	15																																													
市としての見解	既存の施設を活用するため初期費用は抑えられる。立地が偏っていることはネックとなるが、既存の施設を有効利用するという基本方針を踏まえると、嚶鳴小学校が統合校の第一候補となる。 ただし統合にあたっては出入口を含む駐車場の整備や、隣接民地の取得なども検討する必要がある。	立地的には嚶鳴小と鶴巻小から徒歩通学圏内にあるが、県道は交通量が多いことや歩道が狭いこと、排水対策を行う必要があるなどの安全性では嚶鳴小学校に劣る。 また、新築する費用面や工事期間を踏まえると、統合までに滝郷小の複式学級が発生する可能性があるため、統合校の第二候補となる。	立地は適当だが、既存建物を用途変更して利用する場合、建築基準法の制約が生じることがあるため、既存建物の利用は難しい。建物を解体して新築する必要があるため、公民館の移転費や解体費が生じる。 上記のとおり、旭市としては各施設は今後も利用計画があるため、この敷地を小学校へ転用することは考えていない。	立地は適当だが、農業振興地域に入っているため、農業振興地域の除外や農地転用のハードルが高い。 また、新築費用のほかに土地の購入費がかかることはコスト面での課題となる。 現時点で新たに用地を取得して新設することは考えていない。																																																